

分科会開催報告書

報告日 令和8年2月26日

報告者 西村康枝

分科会名 浮雲俳句会

開催テーマ 第204回浮雲俳句会

開催日時 令和8年2月22日(日)午前10時～12時

開催場所 いきいきセンター
晴嵐かなざわ

参加人数 浮雲俳句会会員 10名

実施内容

第204回例会は、兼題「梅」の1句、当季雑詠3句、合計4句。

句会は、重九会員による選句の披講後、会員各々が選んだ特選句の選評、続いて特選に選ばれた作者のコメント。

月当番による合評後、意見・質問・添削等活発な意見交換がなされた。

「第204回 合評・ランクアップ添削の一例」について学習。

出席者全会員により、特選句8句を選ぶ。

特選句

多点杖紅梅香る処まで	繁 茂
ほろ苦（にが）を当てに一献露の臺	重 九
淡雪に吾ひとときの詩人なり	あきえ
天神の梅に託せし絵馬の山	あきえ
春光の樹々渡りゆく栗鼠の影	二 点
公魚や湖より掬ふ銀の群れ	和 女
狭庭（さには）にも天の恵みや春の雪	重 九
薄氷にひととき憩ふ日差しかな	十 九

次回の予定

令和8年3月22日（日） 午前10時～12時

第205回句会は、いきいきセンター晴嵐かなざわ

投句は4句。兼題は「空」の1句、他に当季雑詠3句。

披講 一翁会員